



発行所
青森県立木造高等学校
印刷所
有限会社 光陽印刷

命を守る行動選択を

校長 三上 保



皆さんに質問をします。「日常の中で、大切にしているものは何ですか？パッと思い浮かんだものを一つ答えてください。」……………何と答えたでしょうか。

我々日本人の多くは、「お金」「家」「親」「財産」「車」……………などと答える割合が多いようです。それに比べ諸外国の多く

の人は、「命」と答える割合が圧倒的に多いというデータがあります。

日本は治安が良く安全で安心な国というイメージがあります。それゆえ、日本人の多くは、今日・明日、命を突然落とすことはないという感覚で日々過ごしている人がほとんどではないでしょうか。

一方、諸外国の多くの人は、日々、死を意識した生活を送っている人の割合が、日本人より多いと思われるかもしれません。何の理由もなくいつ襲われて

も不思議ではない、どこからミサイルが飛んできて不思議ではない、いつ戦争が始まって不思議ではない、このような意識を常に持つて生活をする諸外国人と日本人の「命」に対する意識は大きく違いがあることに間違いはありません。

安倍元総理の暗殺事件、岸田総理の演説直前に爆発物が投げ込まれた事件、電車内で不審者が他人を襲い命を奪おうとする事件など、国内で命を狙われる数々の事件があっても、我々日本人は、「私にはそのようなことは起こらない」と思う人が多いでしょう。まして、交通事故や死亡事故に関しては、

毎日のように起こっているにもかかわらず、他人事として捉えている人が多いことも事実です。このような点からも、私たちは「命」に対して無頓着で危機感が薄いということが言えるのではないのでしょうか。

さて、タイトルに「命を守る行動選択を」と書きましたが、自転車に乗る際にはヘルメットを着用し、万が一、大きな事故に遭遇しても大事に至らないように、望ましい行動選択をしてほしいという意図であります。

道路交通法の改正により、令和5年4月1日から、自転車を利用するすべての人に対し、ヘルメットの着用が努力義務となりました。警視庁の令和4年のデータからは、全国で起きた自転車乗車中の事故で死亡した人は三三九人で、このうち一七九人が頭に致命傷を負って死亡したとのことです。また、ヘルメットを着用することで、自転車事故による致死率は約4分の1に抑えられるというデータもあるそうです。

ヘルメット着用義務は、あくまで努力義務であるため罰則はありませんが、法律で定められていることによりはななく、万が一、事故などの際に損害賠償の対象となってしまうと努力義務化されているはずのヘルメットの着用が無かったとすると賠償額で不利になる可能性もあります。

本校では、全校生徒の約3分の1が自転車で通学していますが、ヘルメットの着用率は3パーセント未満です。今年度、登下校時における自転車の交通事故が数件発生しました。幸い、ヘルメットを着用していたため大事に至らなかったケースも実際に起こりました。

スも実際に起こりました。

生徒の皆さん、命は何よりも大切です。万が一の時、ヘルメットの着用が自分の命を救うことにつながります。

道交法の改正は、自転車での事故から運転者の命を守るためであるといった背景を理解するとともに、大きな事故に遭遇する可能性は自分にもあるのだという意識を常に持ち、自転車乗車時にはヘルメットを着用する強い意思決定と行動選択をして自転車を利用してくださいます。

ヘルメットを着用して自転車通学をしている生徒の皆さんには、今後も継続をお願いいたします。

そして、自転車利用時における本校生徒のヘルメット着用者が増えることを切に願っています。

変化への試み

生徒会長 34HR 川村 悠翔



生徒会は、全校生徒や先生方、見に来てくださる保護者の方々といたった全ての人が楽しめる学校行事の運営や、学校生活を過ごしやすくす

る規則の見直しなど、さまざまな案を出し合っており、よりよい木造高校を目指しています。

昨年度より、私たちは本校の学校行事をコロナ禍前の状態に戻すべく、様々な活動に変化を加えてきました。当然、変

化を加えることへの不安や心配がなかったわけではありませんが、しかし、その不安や心配を乗り越えた経験を活かし、今年行事のさらなる向上と変化を試みてきました。

一学期、特に印象深かったのは、7月19日、20日に行われた木高祭です。一日目がオルテンシア、二日目を校内で行い、

ともに大盛況で終わることができました。準備期間が短いながらも、クラスパフォーマンスや校内装飾、校内展示、模擬店と、全校生徒が一つになった木高祭となりました。全体的に忙しさを感じさせる中で楽しみを見出して努力する生徒の皆さんと、陰から支えてくれた先生方、来校して下さった大

勢の方々、そして地域の方々のご協力があったからこそ大盛況だったと感じています。皆さん、最高のひとときをありがとうございました。

二学期となり、9月26日、27日には総合競技大会が開催されます。今年は初めて屋内競技を伊藤先生がやりなで行うこととなりました。時間の都合上、皆さん

の意見を多く取り入れることは厳しかったのですが、改善点等がありましたら、来年また再来年へと繋いでまいりますので、ご協力よろしくお願いたします。

来年は生徒の意見をより多く聞き入れていき、生徒の皆さんにとって生徒会が頼りになる存在であってほしいと思います。

全国大会出場者

2024

ありがとうを強さに変えて

北部九州総体

令和6年度
全国高等学校総合体育大会

相撲部 男子

33HR 神 哲平
インターハイの相撲競技は、大分県宇佐市で開催されました。予選は突破できましたが、決勝トーナメント2回戦で敗退し入賞することができませんでした。試合を終えて振り返ってみると悔しい思いがいっぱいですが、インターハイに出場することは3年間の目標だったので、誇りに思っています。今



柔道部

女子個人57kg級
23HR 葛西 萌恵
私は8月11日から14日まで、大分で行



日の自分があるのも粘り強く指導して下さいました。藤本監督や高橋先生、コーチや苦楽を共にした仲間、そして家族の支えがあったからだと思います。心から感謝しています。

われたインターハイに出場してきました。結果は、2回戦で開始すぐ相手に関節技をかけられて負けました。初めてのインターハイとはいえ、全く納得のいく結果ではありませんでした。今回の経験を生かし、次の試合ではもっと自分が納得できる柔道をして、1回でも多く勝ちます。

令和6年度 部活動大会記録 (春季大会から高校総体まで) 令和6年6月18日現在

【県高等学校春季大会】主な成績

部 名	種 目	成 績	備 考
相撲部	団体戦	第1位	第108回高等学校相撲金沢大会出場
	男子個人戦	第1・3位	
	女子個人戦	第2・5位	第10回全国女子相撲選抜ひめじ大会出場
柔道部	男子団体戦	第3位	
	女子団体戦	第3位	
	男子個人 73kg級	第2位	
	男子個人 100kg超級	第3位	
	女子個人 48kg級	第3位	
	女子個人 57kg級	第3位	
ソフトボール部		第2位	
陸上競技部	男子 300 m	第2位	
	男子三段跳	第7位	
	女子 100 mハードル	第4・5位	
	女子 300 mハードル	第3・4位	
	女子 400 mハードル	第6位	
	女子 4 × 100 mリレー	第4位	
	女子 4 × 400 mリレー	第6位	

【県高等学校総合体育大会】主な成績

部 名	種 目	成 績	備 考
ソフトボール部		第2位	東北大会出場
相撲部	団体戦	第2位	東北大会出場
	個人戦	第1位	インターハイ出場
	体重別個人戦 100kg以上級		東北大会出場
柔道部	体重別個人戦 100kg級	第2位	
	女子 57kg級	第1位	全国・東北大会出場
陸上競技部	男子 4 × 100 mリレー	第3位	東北大会出場
	男子 100 m	第4位	〃
	男子 200 m	第4位	〃
	男子三段跳	第7位	
	女子 4 × 100 mリレー	第6位	東北大会出場
	女子 4 × 400 mリレー	第4位	〃
	女子 200 m	第2位	〃
	女子 400 mハードル	第2位	〃
	女子 100 mハードル	第4位	〃
	女子走高跳	第5位	〃

【東北高等学校陸上競技大会兼全国高等学校陸上競技対校選手権大会東北地区予選会】

陸上競技部	男子 4 × 100 mリレー	第7位	
	男子 100 m	第7位	

【第26回青森県高校かるた選手権大会】

競技かるた部	団体戦	第2位	
--------	-----	-----	--

陸上競技部男子

31HR 木村 陽彰

高校総体では男子三段跳で1名が7位入賞、そして男子100mと200mで1名、女子100mHで1名、女子走高跳で1名、4×100mリレーで男女、4×400mリレーで女子が入賞し、東北大会出場を果たしました。東北大会では、男子100mで7位入賞、男子4×400mリレーで7位入賞という結果でした。

後輩たちはこれから忙しくなりますが、身近な方々へ感謝を忘れず、東北大会やインターハイを目指して頑張ってください。学校の先生方やクラスメート、そして保護者の皆様、応援ありがとうございます。

陸上競技部女子

31HR 松橋 怜奈

高校総体県大会での結果は、陸上部男子のとおりでした。六月に行われた東北大会ではあと一歩インターハイに届かないという結果で終わってしまいました。しかし、仲間の結果を自分のことのように喜んで悔しがらな

い、チーム一丸となっていた大会だったと思います。新体制となった現在、思い通りにいかないことも多々あると思います。そんな時は、家族、先生方、多

人数ということを強みに仲間を頼ってください。みなさんの活躍期待しています。今までありがとうございました。



硬式野球部

32HR 神 悠也

初戦は弘前東高校と対戦し三対一で敗れました。初戦から全校応援という最高の環境での試合で勝利することができず残念でしたが、最後まで諦めず全力を出せたと思います。大会までの期間、今年から合宿・遠征が増え、いろいろな経験が増えたこと、夜遅くまでチームメイトと切磋琢磨できたことがとてもいい財産となりました。後輩たちは、人数が多い分レギュラー争いが激しいですが、最後まで木造高校野球部という自覚を持ち高校野球を楽しんでほしいです。



ソフトボール部

32HR 葛西 莉桜

6月に高校総体が行われました。一回戦目は聖愛高校に勝利し、二回戦目は弘前実業高校に勝利し、決勝は柴田学園高校に敗れました。インターハイ出場は叶いませんでしたが、苦しい状況でも自分たちの粘りのソフトボールをすることができました。これまで指導してくださった先生やコーチ、支えてくれた家族には感謝しています。1、2年生はこれからこの合同チームで学んだことや経験を活かし、最後まで諦めず一球一球大切に頑張ってください。



サッカー部

34HR 青木 海飛

私たちは高総体で八戸東高校と対戦し、1対4でした。結果は3点差での敗北ですが、内容は誰一人最後まで諦めることなく試合を終えることができました。人数の少ない3年生にとつて最後の大会を選手15人、マネージャー15人という多い人数で終えられたことに感謝し、入部してくれた後輩にはとても感謝しています。サッカー部での活動はきついこともありましたが、楽しいことの連続で、本当に入部して良かったです。1・2年生は喧嘩せず仲良く頑張ってください。応援しています。



バレーボール部

32HR 永田 華

バレー部は六月に行われた高校総体の一回戦で六ヶ所高校と対戦し2-0で勝利しまし

た。二回戦は八戸工大一高校と対戦し、0-2で敗戦しました。結果は二回戦敗退ですが、今後に繋がる試合をすることができました。人数が少ない中で怪我人も多く、万全な状態で挑むことはできませんでしたが、チームとして全力を出し切りました。これまで指導してくださった顧問の先生方、家族、部員にとつても感謝しています。一・二年生は今後も周囲の方々への感謝を忘れずに頑張ってくださいと思います。



男子バスケットボール部

31HR 秋田谷秀虎

私たちは一回戦目、八戸東高校と完全にアウェイの状態でした。お互いに攻め合い、最終的には勝利することができました。続く二回戦は弘前高校と試合をして、敗北してしまいました。しかし、最後にチーム全員で試合をすることができ、とても大きな経験となりました。また、一・二年生は全員



で意見を出し合い、全力で日々の練習に取り組み、「本気で成長する」をモットーにどんな成長していったらいいです。指導して下さった先生方、関係者の方々、保護者の皆様、本当にありがとうございました。



女子バスケットボール部

31HR 高木 芭葉

私たちは、高校総体で県一勝を目標に挑みました。初戦は三沢商業高校と戦い、前半は一桁の点数差でしたが、後半は16点差まで引き離し勝利しました。次にベスト8をかけて柴田学園高校と戦いまし

テニス部

31HR 山田 優徳

た。結果的に90点以上離されましたが、強豪校相手に最後まで諦めずに戦うことができました。私は1、2年やマネージャー、顧問の先生のおかげで伸び伸びとプレーすることができました。応援してくださった保護者の皆様、ありがとうございます。



バドミントン部

31HR 三上 莉央

しむ事を忘れず、試合で結果を残して欲しいと思います。

バドミントン部は6月の高総体に向けて、練習を頑張ってきました。団体戦では一回戦で、聖ウルスラ高校と対戦し3対0で勝利しました。2回戦は野辺地西高校と対戦し0対3で敗れました。個人戦ではシングルス、ダブルスともに一回戦で敗れました。みんなが今まで練習してきたことを出しきってプレーすることができていたと思うので良かったです。1、2年生はこれからも練習を頑張りたいです。結果を残して欲しいです。今までもありがとうございました。



卓球部

33HR 成田 美咲

今年の高校総体の結果は、男女学校対抗共に二回戦敗退という結果で終わりました。しかし、女子シングルスでは東北大会出場を決めることができました。私は毎日、部員のた

柔道部

33HR 木村 海斗

私たち柔道部は、去年より少ない人数で、高校総体に向けて頑張ってきました。団体戦は、男子が2回戦負け、女子が初戦敗退と目標のひとつであった東北大会出場を果たすことができませんでした。個人戦でも、ほとんどがあまりいい試合ができず、悔しい負け方をした者もいました。全体的に悔しい結果として終わってしまったので、1・2年生には、この悔しさを胸に、新人戦では良い結果を出して欲しいです。応援しています！



剣道部

34HR 山内 唯叶

今年の高校総体は十和田市で行われました。入賞することはできませんでしたが、それがベストを尽くすことができたと思います。後輩たちは、次の新人戦に向けて、今までの試合や稽古で学んだことを生かして、今後の練習に励んでほしいです。また、少ない人数で十分に練習できないこともあるかと思いますが、お互いに協力して頑張ってください。入部してからたくさんの方々に支えられ、剣道を続けることができました。ありがとうございます。



男子弓道部

31HR 太田 亜蓮

男子弓道部は、六月に行われた高校総体に出場しました。個人戦では太田が予選を通過しましたが、入賞には至りませんでした。団体戦では、今年は三連覇がかかっていたこともあり、緊張してしまいましたが、練習の成果を発揮することは難しかったです。個々の力はありませんでしたが、五人全員が一丸となって力を出しきることができませんでした。準決勝敗退という悔いが残る結果となりましたが、これは、次の世代には多くの試合や勝負所で勝ちきる糧にして欲しいと思います。これから行われる大会では悔いが残らないよう精一杯戦って欲しいです。



女子弓道部

34HR 横濱ゆうな

女子弓道部は、インターハイ出場を目指して日々練習に励んでいます。試合では、静かな空間に響く仲間の

「よし!」という力強い声援で、泣きそうになった瞬間を私は忘れません。予選敗退という悔しい結果ですが、指導して下さった先生・コーチ、支えて下さった保護者の皆様、卒業生の方々のおかげでここまで頑張ることができました。本当にありがとうございました。後輩たちには日々の練習に励み、困難を乗り越え良い結果を残せるよう頑張ってください。



吹奏楽部

31HR 田中 結菜

今年度吹奏楽部は38人で活動してきました。4月には平滝沼公園で行われた春祭りに参加し、6月には定期演奏会を開催することができました。定期演奏会では新曲や劇に挑戦し、時間がないうちで1人ひとり意見を出し合い、部員全員で作りに上げるのができ、3年間で一番思い出に残る演奏



相撲部

34HR 松野 将太

相撲部は、男子3人、女子2人の5名で活動している。春季大会では、数十年ぶりの団体優勝を果たすことができた。高総体では団体戦で2位に入賞し、個人戦でもそれぞれが結果を残し、東北大会や全国大会に出場できることとなった。3年間部員が少ない状況で活動してきたが、日々の練習の成果が、心身共に成長することができていると感じている。支えてくださるコーチや先生方、保護者の皆



競技かるた部

34HR 乗田 菜緒

競技かるた部は明るく楽しく元氣よくをモットーに練習を重ねてきました。今年度から団体戦で声が出るようになり、以前とは全く違う色をした団体戦が見られるようになりました。県大会では木高らしい団体をできたものの惜しくも敗れてしまいました。しかし、三年間を通して一番楽しく、白熱した団体ができたと思います。一、二年次は来年こそ全国大会を目指して日々練習を頑張ってもいいと思います。木高かるた部ファイト!



で、顧問の木村先生、鳴海先生と活動しています。このメンバーで春から活動してきました。活動の内容は、ビジネス文書実務検定などの資格を取得するための練習です。7月にあるビジネス文書実務検定試験2級の取得を目指して、時間を計ってタイピング練習しています。過去問を使って練習していますが難しいときもあります。部員数が少なく、大変なこともありすが、自分たちで目標を決め達成できるように、日々の練習を頑張っていきたいと思っています。

JRC部

32HR 傳法谷知花



JRC部では現在、一年生五名、二年生四名、三年生五名の計十四名で活動しています。今年度の木高祭では小児がん支援のためのレモネードスタンドを設置し、販売しました。さらにJRCの活動や魅力を知ってもらうためのポスターを展示しました。十月には高総文に出場します。三年生の引退後、私たちが先輩から繋いだ活動を、次は後輩たちが繋げていってほしいです。

珠算部

33HR 三上 啓仁



今回の珠算の全国予選大会では、今まで練習してきたことを全て出し切る気持ちで挑みました。結果としては全国大会へ行くことはできませんでしたが、各々が練習してきたことを発揮し、去年の点数を越えることができ、良かったと思います。三年生は引退してしまいましたが、培ってきた集中力は今後生かされていくと思います。後輩には今年果たせな

フープロ部

33HR 熊澤 慰織

フープロ部は1年次生1名、3年次生2名

茶華道部

22HR 木村 凜

茶華道部は、現在2年生2人で活動しています。活動内容は、主にお点前のお稽古をしています。今年も昨年に引き続き文化祭でお茶会を開催することになりました。五月から文化祭に向けてのお稽古を頑張ってきたので、たくさんお客さんが来てくれたらいいなと思っています。



かつた全国大会出場の切符をつかんで欲しいと思います。先輩として上手く教えることが出来なかったり、至らないところもありましたが、仲間と切磋琢磨し合えて良かったです。

JRC部

32HR 傳法谷知花



JRC部では現在、一年生五名、二年生四名、三年生五名の計十四名で活動しています。今年度の木高祭では小児がん支援のためのレモネードスタンドを設置し、販売しました。さらにJRCの活動や魅力を知ってもらうためのポスターを展示しました。十月には高総文に出場します。三年生の引退後、私たちが先輩から繋いだ活動を、次は後輩たちが繋げていってほしいです。

珠算部

33HR 三上 啓仁



今回の珠算の全国予選大会では、今まで練習してきたことを全て出し切る気持ちで挑みました。結果としては全国大会へ行くことはできませんでしたが、各々が練習してきたことを発揮し、去年の点数を越えることができ、良かったと思います。三年生は引退してしまいましたが、培ってきた集中力は今後生かされていくと思います。後輩には今年果たせな

フープロ部

33HR 熊澤 慰織

フープロ部は1年次生1名、3年次生2名

演劇部

32HR 一戸 優衣

演劇部は現在、一年生四人、二年生三人、三年生四人の計十一人で活動しています。年間の活動としては、木高祭やコンクール、冬季発表会での上演に加えてボランティア活動も行っています。木高祭では、三年生にとって最後の舞台になるので、最後の練習の中で、最高の作品を皆さんに届けられるように頑張っています。これからも観劇していただき皆さんに感動を与えたいです。応援よろしくをお願いします。



た。どの年次も個性豊かな作品を制作しており、とても見応えのある展示ができたと思います。1、2年次は引き続き作品制作に打ち込んで欲しいです。今後は高総文があるのので、それに向けて、作品制作を頑張ってください。

JRC部

32HR 傳法谷知花



JRC部では現在、一年生五名、二年生四名、三年生五名の計十四名で活動しています。今年度の木高祭では小児がん支援のためのレモネードスタンドを設置し、販売しました。さらにJRCの活動や魅力を知ってもらうためのポスターを展示しました。十月には高総文に出場します。三年生の引退後、私たちが先輩から繋いだ活動を、次は後輩たちが繋げていってほしいです。

珠算部

33HR 三上 啓仁



今回の珠算の全国予選大会では、今まで練習してきたことを全て出し切る気持ちで挑みました。結果としては全国大会へ行くことはできませんでしたが、各々が練習してきたことを発揮し、去年の点数を越えることができ、良かったと思います。三年生は引退してしまいましたが、培ってきた集中力は今後生かされていくと思います。後輩には今年果たせな

フープロ部

33HR 熊澤 慰織

フープロ部は1年次生1名、3年次生2名

イングリッシュクラブ

32HR 桑田衣菜莉

イングリッシュクラブは、アリソン先生、荒関先生と一緒にゲームをして楽しくコミュニケーションをとる活動を行っています。昨年度はハロウィン・クリスマスパーティー、夏休みには外国人高校生との交流会を実施し、木造高校だけでなく、つがる市の魅力も伝え



ることができました。今年度は部員が少ない中、楽しく活動できたので、来年度はもっと部員数を増やして様々な活動ができることを楽しみにしています。

馬市まつり実行委員会

24HR 埴見 歩希

今年も天候に恵まれ開催された馬ねぶたパレード。馬ねぶたは木高の校訓である「親切」を丸みを帯びた模様に、力強さを赤色や黄色を使って濃淡を表現し、木高ならではのものとなりました。部活や行事で忙しく、作業が進まない時もありましたが、実行委員や講師の方の協力の元、立派な馬が完成しました。表彰されることはありませんでしたが、木高生が一番輝いていました。これからも伝統である馬市まつりを活気づけていきたいです。



※馬まつり実行委員会を除く部活動の記事は、すべて7月下旬に寄稿されたものです。



6月21日(金)の年次も炊事遠足を企画しました。1年次は鯉ヶ沢キャンプ場、2年次は八甲田憩いの牧場、3年次は星と森のロマンティック・そうまに青空の下バーベキューを楽しみ、友達との親睦を深めました。

13HR 長内 洸樹

高校生活初めての行事が遠足でした。遠足の前日に職員と買い出しに行きました。私の班では、焼肉をする予定でしたが、ししゃもも買いました。ほかにも水風船やボールを買って、更に楽しみが増えました。そして、長平のキャンプ場へ行き、班のみんなでおこしを始めました。少し時間がかかったけれど班の仲間と協力して火をおこせました。お肉や野菜を焼いた後、ししゃもを焼き食べました。班の仲間と笑って食べたりしゃもが一番美味しかったです。この遠足を通して、話し合う大切さを改めて理解することができました。

14HR 稲葉 宇慶

私たち1年次は鯉ヶ沢キャンプ場へ行き、班で炊事遠足を行いました。私の班では何をやるか大いに盛り上がり野菜たっぷりのBBQをしました。とにかく自然に囲まれてワイワイガヤガヤするのは楽しい。他班では流しそうめんやベッパールランチを作っていた。食べ終わると班同士で水風船や鬼ごっこで遊び、終始愉快で笑いの絶えない1日だった。また、友情や絆を深め合えた良い行事だった。クロカンが中止となり、実質最初の行事だったが大変良い思い出ができました。



た。来年の遠足も、また新しい仲間と思いつき楽しみたいと思った。

22HR 長内 華恋

今年も炊事遠足でした。クラス替えをしてから初めての行事だったのでとても楽しみでした。到着したら、私の班はBBQだったのでもうみんな焼いていき、たぐさん食べました。BBQと同時に進行でケーキを作っているとき「今すぐ青春写真の撮影のみのスマホ使用が可能だったので、たくさん写真を撮って思い出を残すことができました。嬉しかったです。今回の遠足は緑豊かな場所と友達とたくさん青春して、親睦をより深めることができ、とてもいい思い出になりました。

31HR 古川 鈴音

6月21日、私たち3年生は、弘前方面へ遠足に行きました。まずは岩木山神社へ行きました。奥へ行く度に、空気がとても澄んでいくような気がして、歩いていく気持ちよかったです。次に、星と森のロマンティック・ハウスへ入って、バーベキューハウスへ入って、テーブルに沢山の肉と野菜があつて、わくわくしていました。お肉は川浪先生が焼いてくれて、私たちが焼くお肉とは同じお肉とは思えない程、美味しかったです。牛タンつくねも美味しかったです。自由時間は友達と夏らしいことができ、充実した日になりました。



34HR 藤森 悠月

高校生で最後の遠足はみんな焼肉をしました。晴天で風も吹き、遠足には最適な天気だったと思います。お肉や野菜の量が多かったけれど、協力して完食できました。

24HR 長谷川陽愛

クラス替えをして最初の行事の炊事遠足。私たちの班はテスト終わりに班の皆で買い出しに行き、お昼ご飯も一緒に食べました。普段は系列が違い、あまり関わりがないメンバーも居ましたが、買い出しを通じて仲良くなることもできたので良かったです。

14HR 稲葉 宇慶

私たち1年次は鯉ヶ沢キャンプ場へ行き、班で炊事遠足を行いました。私の班では何をやるか大いに盛り上がり野菜たっぷりのBBQをしました。とにかく自然に囲まれてワイワイガヤガヤするのは楽しい。他班では流しそうめんやベッパールランチを作っていた。食べ終わると班同士で水風船や鬼ごっこで遊び、終始愉快で笑いの絶えない1日だった。また、友情や絆を深め合えた良い行事だった。クロカンが中止となり、実質最初の行事だったが大変良い思い出ができました。



木高祭

7月19日(金)と20日(土)の2日間にわたり、木高祭が開催されました。1日目はオルテンシアで各HRや文化部のパフォーマンスが、2日目は学校内で各HRや文化部の展示、有志によるパフォーマンス、3年次の模擬店が催され、多くの人が来校し賑わいました。



木造高校の探究学習

1年次

総合的な探究の時間
産業社会と人間

産業社会と人間では、ライフプランとキャリアプランを合わせた「夢プラン」の作成に向けて、職業人講話や様々なワークショップを通じて自己理解に努めています。



2年次

総合的な探究の時間

地域社会の諸課題について、自分たちの生活と関連付けながら探究することを通して、課題解決に向けて主体的に取り組んでいます。



3年次

総合的な探究の時間

個人の興味・関心に基づき、設定した課題解決に向けて主体的に探究することを通して、進路を実現するための力を身につけることをめざしています。



2,3年次

総合的な探究の時間
「ガシャ活」

2017年につがる市の湖沼で発見された幻の水草「ガシャモク」を本校で生育し、国立大学法人弘前大学農学生命科学部付属白神自然環境センターと共同研究し、生育地保全の活動を通して地域の豊かな自然環境を次世代へ引き継いでいくための活動を行っています。

34HR 青木 海飛

このチームは、つがる市にある沼に生息している絶滅危惧種IA類の水草「ガシャモク」の保全活動を行っています。ガシャモクとはつがる市他に、鳥取県鳥取市、福岡県北九州市の3ヶ所しか確認されていない希少な水草です。この水草を絶滅させないために、また、繁殖成功のために、弘前大学と連携しながら活動しています。この活動を広めるために様々なイベント参加、インスタでは@gashaponzuという名前で広報活動もしています。中庭で繁殖実験を行っているので興味があれば見てみてください。



木高Labo

イオンモールつがる柏1階の空きテナントに専用ブースを設置し、木高の学校行事や学習成果を発信しています。また、総合的な探究の時間として、地域活性化のために木高Laboを活用したプロジェクトを企画し、検証を進めていく予定です。

